

平成29年度全国学力・学習状況調査

小学校 国語

<平均正答率%>

	市	都	全国
国語 A	76	76	74.8
国語 B	61	60	57.5

A「主として『知識』に関する問題」の平均正答率は、国よりも上回り、B「主として『活用』に関する問題」の平均正答率は、国・都よりも上回っている。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合 市 (都)

- ・国語の勉強は好きである.....61.8%(62.8%)
- ・国語の授業の内容はよく分かる82.5%(83.0%)
- ・読書は好きである.....76.8%(74.8%)
- ・国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする...67.0%(68.4%)

【国語Aの結果から分かったこと】

○二つの句に共通する表現の特徴、作者が捉えた情景や季節感を捉える問題について、よくできています。
●学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり、書いたりすることに課題があります。無回答率も高いです。学習した漢字を様々な場面で、漢字のもつ意味を考えながら、実際に文や文章の中で正しく使うことができるように指導する必要があります。

【国語Bの結果から分かったこと】

○目的や意図に応じ、自分が伝えたいことについて、的確に話すことができます。
●自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることに課題があります。物語を読んで感想を伝え合い、感じ方に違いがあることに気づき、自分の考えを広めたり深めたりさせることが必要です。

【質問紙から分かったこと】

○左の上3つの質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合は全国を上回っています。
●目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりすることを、授業の中で意図的に取り入れていく必要があります。

小学校 算数

<平均正答率%>

	市	都	全国
算数 A	81	81	78.6
算数 B	49	49	45.9

A「主として『知識』に関する問題」B「主として『活用』に関する問題」の平均正答率は、国よりも上回り、都と同じである。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合 市 (都)

- ・算数の勉強は好きである.....66.3%(69.8%)
- ・算数の授業の内容はよく分かる79.1%(82.9%)
- ・算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える.....67.2%(68.1%)
- ・算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える.....83.5%(82.8%)

【算数Aの結果から分かったこと】

○89.4%の児童が二つの数の最小公倍数を求めることができ、全国や都よりも多くの児童が正答できています。
●加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることに課題があります。小数の計算については、例年の課題となっています。計算のきまりを単に暗記するのではなく、具体的な場面と結びつけて理解できるよう指導する必要があります。

【算数Bの結果から分かったこと】

○飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を判断することができます。
●仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を、言葉や式を用いて記述することに課題があります。平均がおよそどのくらいになるか見積もったり、能率的に処理するために工夫して計算したりできるような指導が必要です。

【質問紙から分かったこと】

○もっと簡単に解ける方法がないか考えている児童が多くいます。●普段の生活の中での活用の意識が低いこと、授業の内容がよく分かると回答した児童の割合が低いことがわかりました。児童が生活の具体的な場面で算数の知識を活用できるよう、授業改善を推進していきます。

平成29年度全国学力・学習状況調査

中学校 国語

<平均正答率%>

	市	都	全国
国語 A	80	79	77.4
国語 B	76	74	72.2

【国語Aの結果から分かったこと】

○場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することができています。

●楷書と行書の違いの理解について課題があります。行書の基礎を学習する段階で、同じ文字の楷書と行書を比較し筆順や運筆などの違いについて理解させる指導ができるよう授業改善を推進します。

【国語Bの結果から分かったこと】

○記述式の問題については、全国・都よりも無回答率が低く、正答率が高いです。

●地の文（会話以外の説明や叙述の部分）にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す問題の正答率が、全国・都を下回っています。場面の展開や登場人物などの描写に着目して文学的な文章を読む際には、複数の場面や描写を関連付けて読むことを大切にして指導することが必要です。

【質問紙から分かったこと】

○国語のほとんどの質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合は全国・都を上回っています。特に、書くことに関する質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合が多く、意欲的に取り組んでいる様子が見えます。

A「主として『知識』に関する問題」の平均正答率は、国・都よりも上回り、B「主として『活用』に関する問題」の平均正答率は、都よりも2%上回っている。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合 市（都）

- ・国語の勉強は好きである.....58.1% (62.1%)
- ・国語の授業の内容はよく分かる75.3%(75.8%)
- ・読書は好きである.....71.0%(68.6%)
- ・国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする...69.5%(63.5%)

中学校 数学

<平均正答率%>

	市	都	全国
数学 A	68	66	64.6
数学 B	51	50	48.1

【数学Aの結果から分かったこと】

○加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがって、計算できています。

●円柱の体積を求めることに課題があります。柱体の体積を求める公式について、底面の図形が高さの分だけ平行に移動することによって構成される立体とみることを関連させて理解を深める場面等を設定した指導を行っていきます。

【数学Bの結果から分かったこと】

○筋道を立てて考え、証明することができています。

●与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈することに課題があります。収集した資料を目的に応じた度数分布表やヒストグラムで表して分布の様子を捉えた上で、資料の傾向を表す代表値などのふさわしい値を検討し、それらを基に判断する場面を設定した指導が必要です。

A「主として『知識』に関する問題」B「主として『活用』に関する問題」の平均正答率は、都・全国より上回っており、Aは2%都より上回っている。

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合 市（都）

- ・数学の勉強は好きである.....61.5% (59.1%)
- ・数学の授業の内容はよく分かる77.3%(71.9%)
- ・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える.....46.8%(44.8%)
- ・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える.....75.1%(72.1%)

【質問紙から分かったこと】

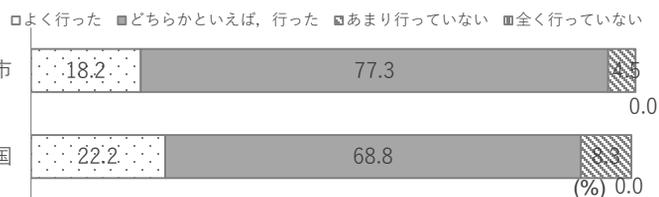
○数学のほとんどの質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合は全国・都を上回っています。特に、解き方や考え方が分かるようにノートに書くことについて、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合が86.1%（全国81.3%）と多く、意欲的に取り組んでいる様子が見えます。

1 学校質問紙から 主体的・対話的で深い学びの視点による 学習指導の改善に関する状況

【学校質問紙（32）】調査対象学年の児童[生徒]に対する指導に関して、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

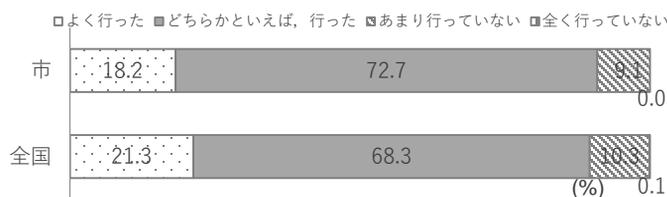
小学校

回答割合



中学校

回答割合

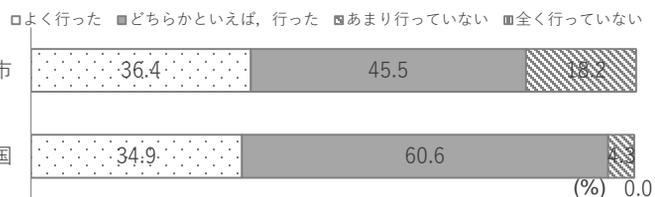


・習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたかとの質問に「よく行った」または「どちらかといえば、行った」と回答した府中市立学校の割合は、全国よりも多い。

【学校質問紙（36）】調査対象学年の児童[生徒]に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

小学校

回答割合



中学校

回答割合

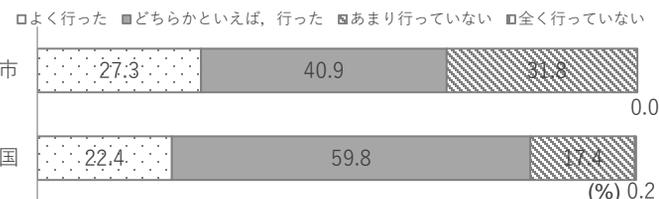


・前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたかとの質問に「よく行った」または「どちらかといえば、行った」と回答した府中市立学校の割合は、全国よりも少ない。

【学校質問紙（41）】調査対象学年の児童[生徒]に対する指導に関して、前年度までに、授業において、児童[生徒]自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取りいれましたか

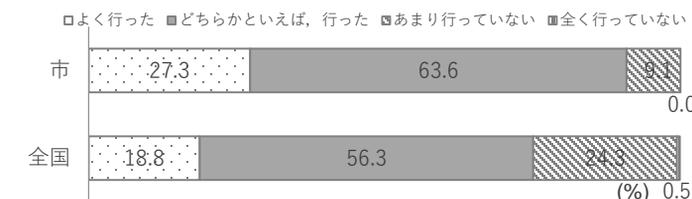
小学校

回答割合



中学校

回答割合

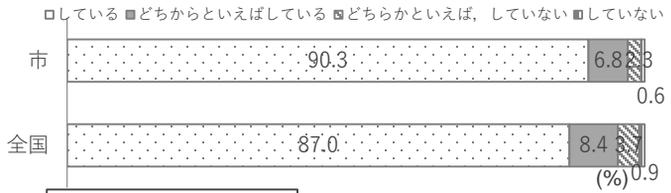


・前年度までに、授業において、児童[生徒]自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取りいれましたかとの質問に「よく行った」または「どちらかといえば、行った」と回答した府中市立学校の割合は、小学校は全国よりも少なく、中学校は全国よりも多い。

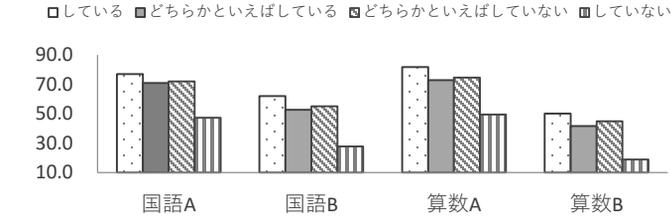
2-1 児童生徒の質問紙から「家庭」に関する状況

【1】朝食を毎日食べていますか

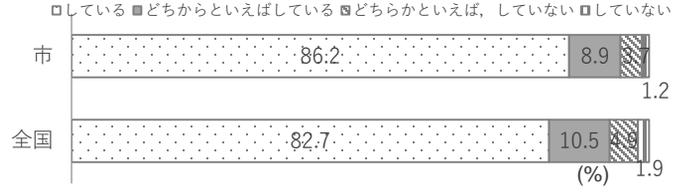
小学校



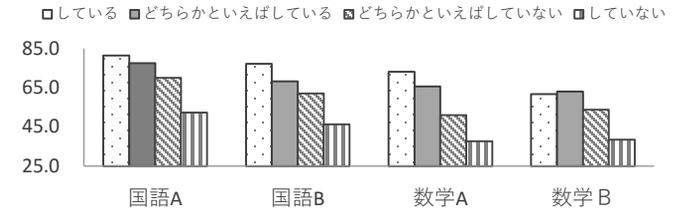
選択肢毎の平均正答率



中学校



選択肢毎の平均正答率

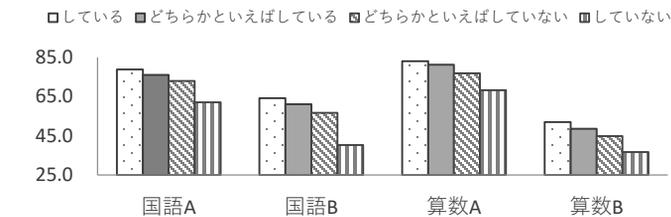


【2.4.26】家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか

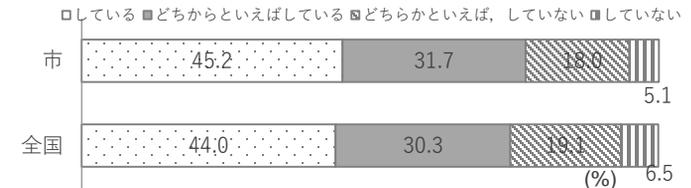
小学校



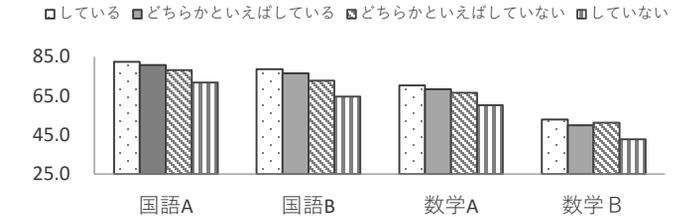
選択肢毎の平均正答率



中学校

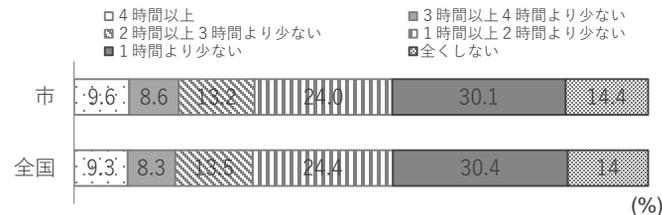


選択肢毎の平均正答率

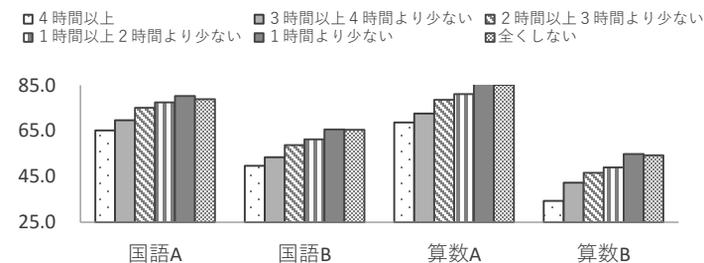


【1.3】普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話、スマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか

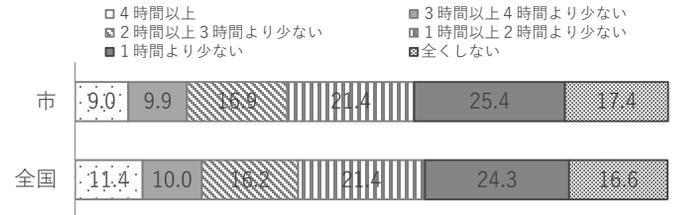
小学校



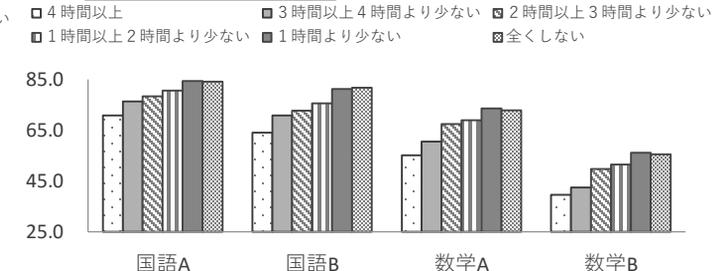
選択肢毎の平均正答率



中学校



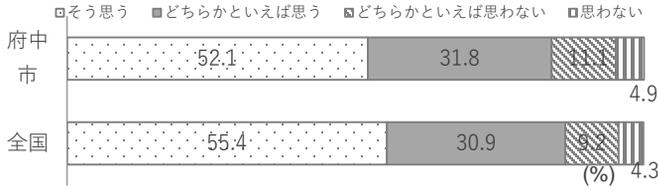
選択肢毎の平均正答率



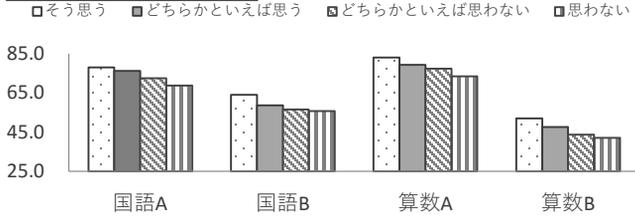
2-2 児童生徒の質問紙から「学校・地域」に関する状況

【33、35】学校に行くのはたのしいと思いますか

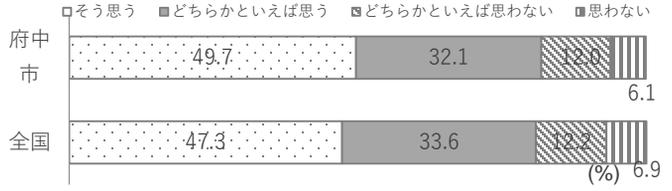
小学校



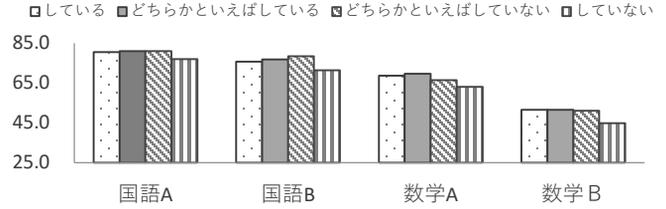
選択肢毎の平均正答率



中学校

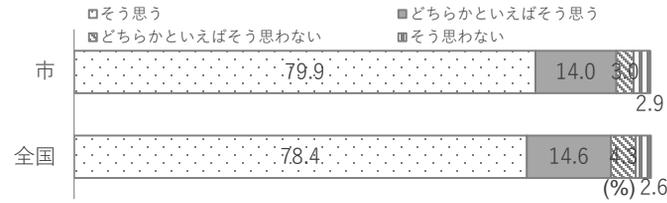


選択肢毎の平均正答率

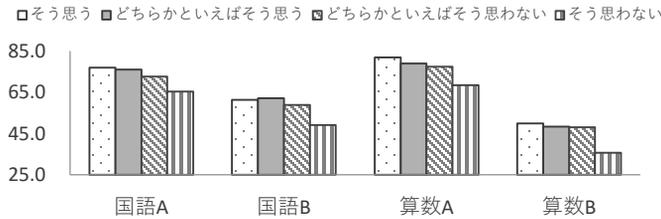


【35、37】学校で好きな授業はありますか

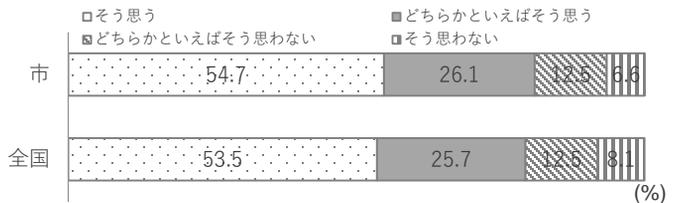
小学校



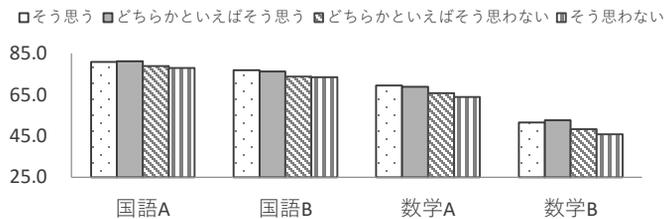
選択肢毎の平均正答率



中学校

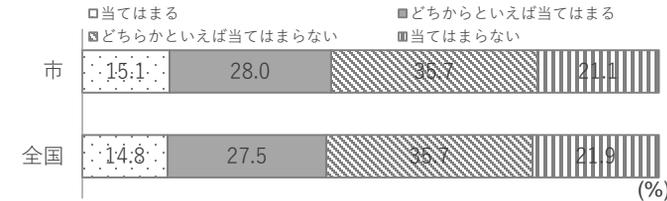


選択肢毎の平均正答率

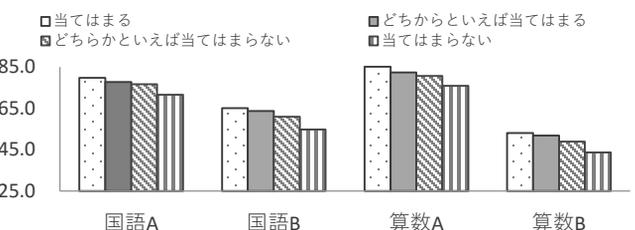


【42、44】地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか

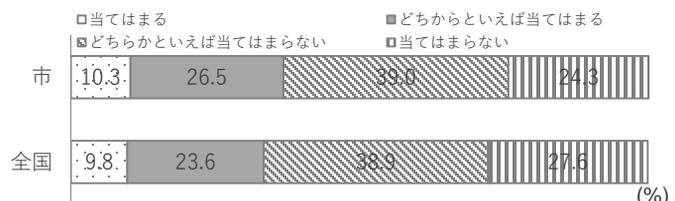
小学校



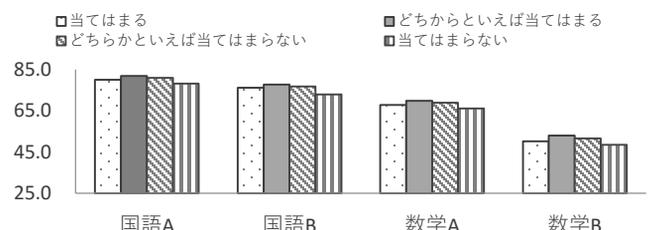
選択肢毎の平均正答率



中学校



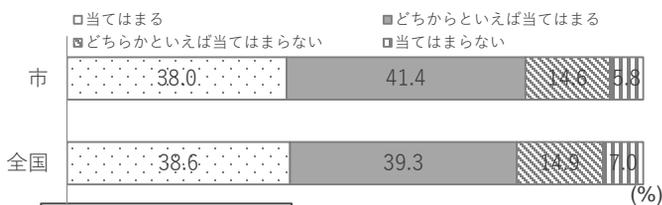
選択肢毎の平均正答率



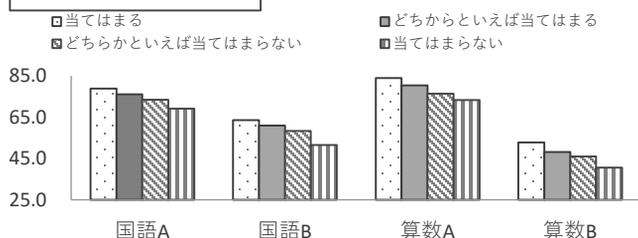
2 - 3 児童生徒の質問紙から「子ども自身」に関する状況

【6】自分には、よいところがあると思いますか

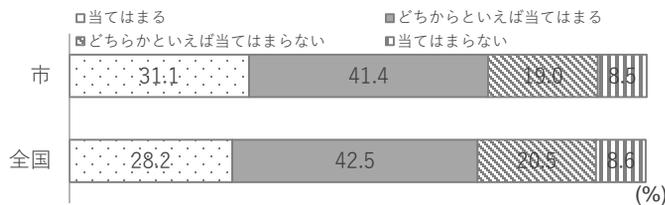
小学校



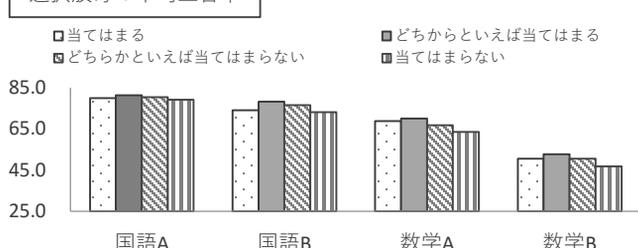
選択肢毎の平均正答率



中学校



選択肢毎の平均正答率

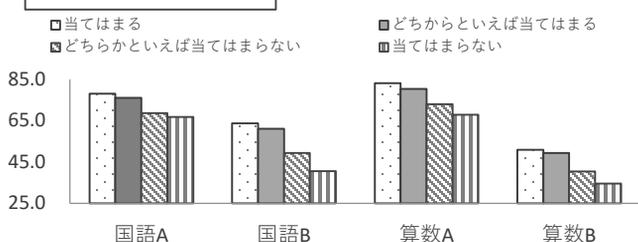


【49, 51】学校のきまり[規則]を守っていますか

小学校



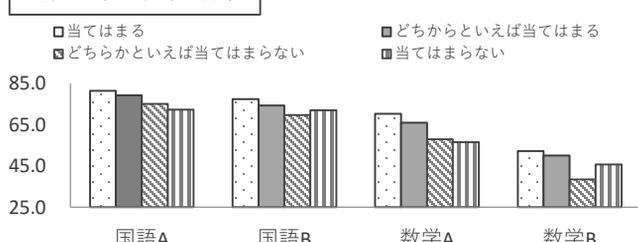
選択肢毎の平均正答率



中学校



選択肢毎の平均正答率

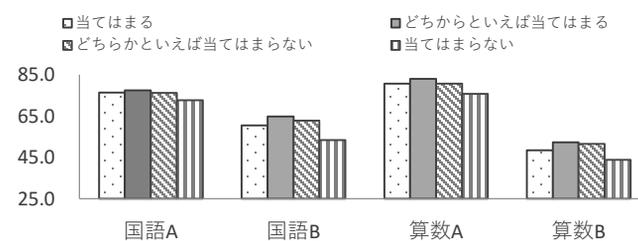


【10】将来の夢や目標を持っていますか

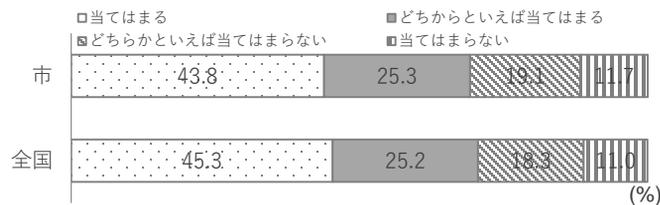
小学校



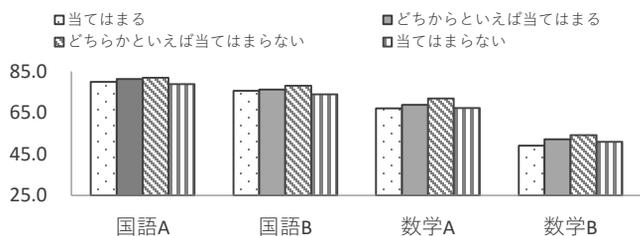
選択肢毎の平均正答率



中学校



選択肢毎の平均正答率



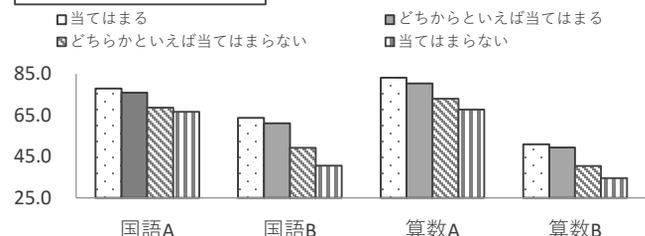
2 - 4 児童生徒の質問紙から「読書等」に関する状況

【72、74】読書は好きですか

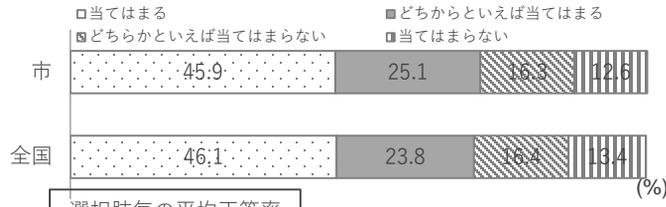
小学校



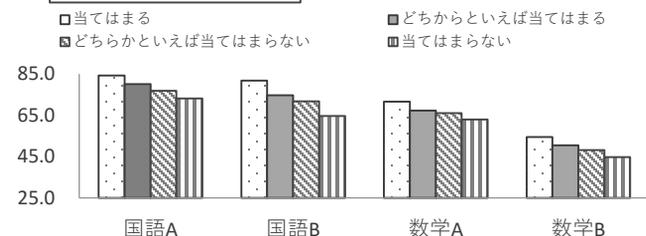
選択肢毎の平均正答率



中学校

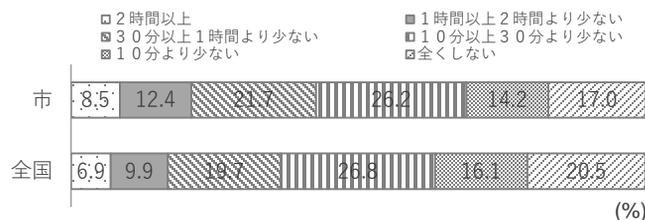


選択肢毎の平均正答率

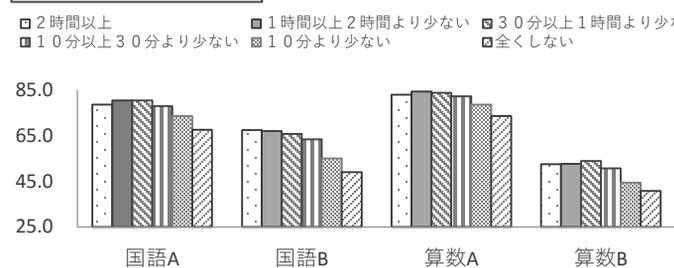


【18】学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

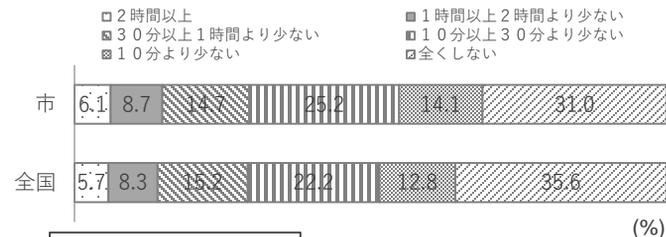
小学校



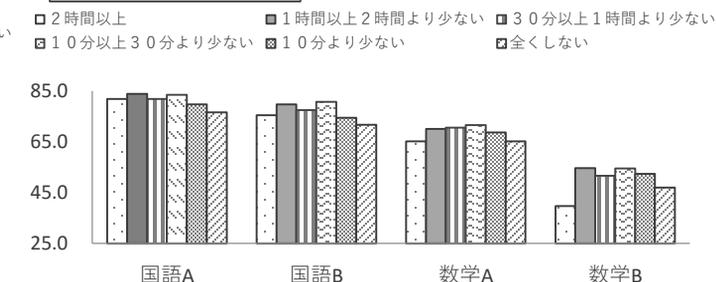
選択肢毎の平均正答率



中学校

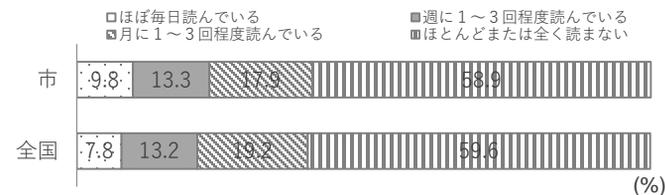


選択肢毎の平均正答率

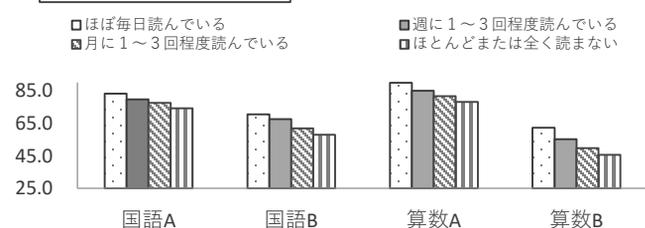


【45、47】新聞を読んでいますか

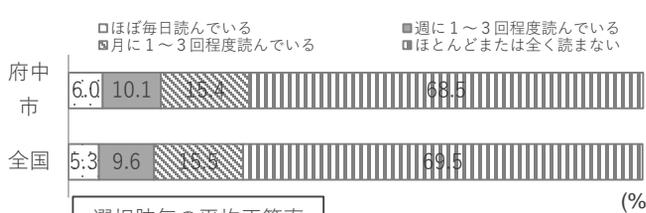
小学校



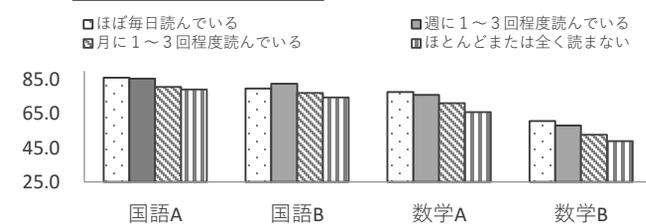
選択肢毎の平均正答率



中学校



選択肢毎の平均正答率



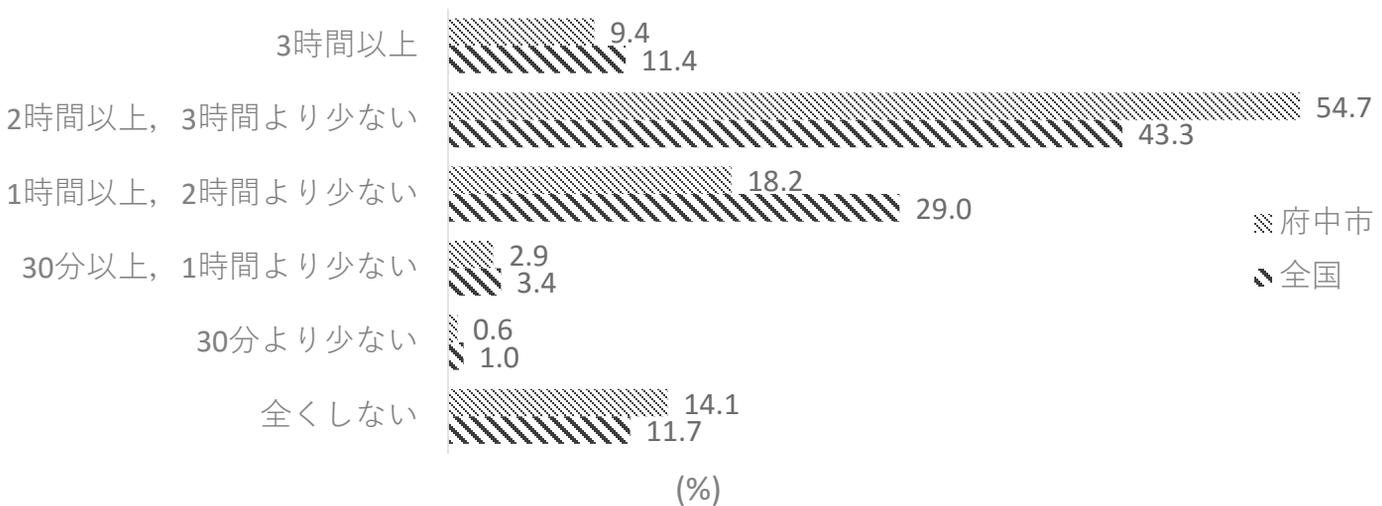
3 平成29年度新規項目の回答状況

部活動の状況【中学校】

- ・府中市において、普段（月曜から金曜日）、1日当たり、「2時間以上、3時間より少ない時間」部活動をしている中学生の割合は約5割と最も高く、「1時間以上、2時間より少ない時間」部活動をしている中学生の割合が約2割とその次に高い状況にある。
- ・部活動の時間別に平均正答率を比較してみると、1日当たり、「2時間以上3時間より少ない」、「1時間以上2時間より少ない」、「30分以上1時間より少ない」部活動をしている中学生の平均正答率が高い状況にある。

【21】普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、部活動をしますか

回答割合



選択肢毎の平均正答率

□3時間以上 ■2～3時間 ▨1～2時間 ▩30分～1時間 ▪30分未満 ▫全くしない

